

みんなねっと フォーラム 2020

— 精神科医療をよりよくするために —

日時 2020

2/21 金

10:00 ~ 16:00

場所

としま区民センター
多目的ホール

(池袋駅東口 徒歩 5 分)

定員
400名

参加費

賛助会員：無料

非賛助会員：500円

精神保健福祉法は、2013(平成25)年に改正され、翌年4月の施行後3年を目途として見直すことが課題とされています。2017(平成29)年に改正案が国会に上程されたものの、審議未了のまま衆議院解散により廃案となっています。

身体拘束の激増や、長期入院、家族頼みの入退院など、精神科医療には課題が山積しています。このような状況を放置せず、よりよい精神科医療を獲得していくために何をすべきか、医療関係者はもとより、私たち当事者・家族をはじめ保健・福祉関係者や行政、障害者雇用に取り組む企業など、多くの関係者が共有すべきこととして、考えていく必要があります。

講演

「精神保健医療福祉施策の近未来展望」

山之内芳雄 (国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所所長補佐 / 精神医療政策研究部部長)

課題となっている精神保健福祉法の改正をステップに、さらなる近未来を展望します

シンポジウム

「精神科医療をよりよくするために～私たちは何をすべきか」

座長兼総括：野村忠良 (みんなねっと理事・政策委員会書記長)

シンポジスト

「問題だらけの精神科医療～出口はあるのか？」

佐藤光展 (ジャーナリスト・元読売新聞記者)

「『病院から地域へ』の加速、そして地域から病院への移行を阻みたい」

伊沢雄一 (全国精神障害者地域生活支援協議会あみ常任理事)

「精神保健福祉法の改正に向けて～ここを変えるべき」

野林信行 (九州弁護士会連合会精神保健に関する連絡協議会委員長・弁護士)

「これからの精神科病院はどうあるべきか～そのためにできること」

松原三郎 (松原病院院長・石川県)

総括

「私たちは何をすべきか」 野村忠良 (みんなねっと理事・政策委員会書記長)

(講師・シンポジストは、予定含む)

web申し込みはこちら



みんなねっと

主催：公益社団法人 全国精神保健福祉社会連合会 (みんなねっと)

〒170-0013 東京都豊島区東池袋 1-46-13 ホリグチビル 602

TEL：03-6907-9211/FAX：03-3987-5466

協賛：一般社団法人日本うつ病センター (JDC)、認定 NPO 法人地域精神保健福祉機構 (コンボ)
NPO 法人全国精神障害者地域生活支援協議会 (あみ)

みんなねっとフォーラム 2020

【会場】

としま区民センター：多目的ホール

【会場への行き方】

JR『池袋駅』東口から徒歩 5 分



● みんなねっとフォーラムプログラム ●

- 09:30 ~ 10:00 開場・受付
- 10:00 ~ 10:10 開会式
- 10:15 ~ 11:45 講演「精神保健医療福祉施策の近未来展望」
- 11:45 ~ 13:00 昼食休憩
- 13:00 ~ 15:50 シンポジウム「精神科医療をよりよくするために～私たちは何をすべきか」
- 15:50 ~ 16:00 閉会挨拶

● お申し込みは、FAX：03-3987-5466 / TEL：03-6907-9211 ●



みんなねっとフォーラム 2020 申し込み書 ※申込締切 2020年 2月 10日 (月)	
お名前	ふりがな
ご所属	
みんなねっと	<input type="checkbox"/> 賛助会員 <input type="checkbox"/> 非会員
ご住所	<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 所属 <input type="checkbox"/> その他 () 〒 都・道 府・県
FAX (TEL)	FAX TEL
E-mail	

